

# みでんか

まつさか市議会だより

vol.65  
2017.5.1

マジメで  
面白くない  
報告ですが…



# 松阪市の 平成29年度 当初予算が 決まりました!!



平成29年2月定例会は予算議会でした。  
開催は2月15日から3月23日までの37日間、市長の  
「基本的な考え方」と当初予算案が審議されました。

3月13日、本会議で各常任委員長報告の後、平成29年度  
一般会計予算案に対し、「福祉会館の現松阪公民館の移転  
とそれに伴う松阪公民館のマーム（ショッピングセンター）  
への移転経費を、当初予算案から削除する」修正案が上程  
されました。

提案説明後、採決され結果、賛成少数で修正案は  
否決となり、当初予算案が可決となりました。

当初予算案  
可決

## ● 平成29年度当初予算内訳（平成28年度との比較）

	平成29年度	平成28年度	増減額
一般会計	636億4,622万円	622億3,357万4,000円	14億1,264万6,000円
特別会計 (8会計)	529億9,894万4,000円	524億8,983万6,000円	5億910万8,000円
企業会計 (3会計)	260億5,485万7,000円	257億8,537万円	2億6,948万7,000円
合計	1,427億2万1,000円	1,405億878万円	21億9,124万1,000円

### 用語解説

一般会計…教育・福祉・行政のサービスや道路・公園の整備など市の行政運営に使う予算  
特別会計…競輪事業・国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業・簡易水道事業・  
戸別合併処理浄化槽整備事業・農業集落排水事業・住宅新築資金等貸付事業など  
特定の目的のみで使う独立した予算  
企業会計…独立採算の水道事業・公共下水道事業・松阪市民病院事業に使う予算

白猪山（飯南町）への風力発電計画への反対意思表示

飯南町深野地区自治連合会  
白猪山の自然を守る会  
大石町自治会



▲棚田百選の深野だんだん田からのぞむ白猪山

## 風力発電施設に反対の請願

地元自治会等から、「白猪山山頂付近の市有地への風力発電施設の建設計画」について、市に反対の意思を表明するよう求める請願書が、平成29年2月定例会に提出されました。

※昨年5月には深野地区住民の84%を超える署名と、建設中止を求める陳情書が市長に提出されています。

請願書の内容は、平成27年12月に東京の事業者が風力発電施設建設の計画をしているとの報道を受け、再び風力発電の計画が持ち上がったことに対して、建設予定の12基の内、11基が市の所有地であり、地権者である松阪市長の意思により計画を止めさせることができるという同12月定例会の市長の答弁により、市に対して、反対の意思を表明するよう求めるという趣旨でした。

白猪山の地質は崩れやすく甚大な土砂崩れ被害が起こる可能性、低周波音の問題、棚田百選になっている深野の棚田が白猪山と一対になっている景観の保護など、地域環境への懸念から、「白猪山山頂付近への風力発電事業計画への反対意思」と、「市有地を風力発電および関連事業に使わせない意思」を市が表明する、という請願は全会一致で採択されました。



平成29年  
2月定例会



## 議決結果一覧表 (55議案、9報告)



全会一致で可決、同意、賛成された案件

議案番号	案 件
議案第2号	平成29年度松阪市競輪事業特別会計予算
議案第6号	平成29年度松阪市簡易水道事業特別会計予算
議案第7号	平成29年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算
議案第8号	平成29年度松阪市農業集落排水事業特別会計予算
議案第9号	平成29年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
議案第11号	平成29年度松阪市公共下水道事業会計予算
議案第12号	平成29年度松阪市松阪市民病院事業会計予算
議案第13号	松阪市保健・医療・福祉施設整備基金条例の廃止について
議案第14号	松阪市リバーサイド茶倉事業基金条例の廃止について
議案第15号	松阪市飯南希望の森づくり事業実施条例等の廃止について
議案第16号	松阪市行政組織条例の一部改正等に伴う関係条例の整理について
議案第17号	松阪市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第18号	松阪市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
議案第19号	松阪市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部改正について
議案第20号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第21号	松阪市職員の給与に関する条例等の一部改正について
議案第23号	松阪市手数料条例の一部改正について
議案第24号	松阪市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について
議案第25号	松阪市健康センター条例の一部改正について
議案第26号	松阪市休日・夜間応急診療所条例の一部改正について
議案第28号	松阪市介護保険条例の一部改正について
議案第29号	市道路線の認定について
議案第30号	市道路線の廃止について
議案第31号	市道路線の変更について
議案第32号	財産の無償譲渡について
議案第33号	専決処分の承認について（松阪市市長、副市長及び教育長の給料、旅費等に関する条例の一部を改正する条例）
議案第36号	平成28年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第2号）
議案第40号	平成28年度松阪市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
議案第41号	平成28年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）
議案第42号	平成28年度松阪市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
議案第43号	平成28年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）



### 表決が分かれた案件に対する各議員の賛否

議案番号	案 件
議案第 44 号	平成 28 年度松阪市ケーブルシステム事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 45 号	平成 28 年度松阪市水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 46 号	平成 28 年度松阪市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 47 号	平成 28 年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 51 号	副市長の選任について
議案第 52 号	監査委員の選任について
議案第 53 号	教育長の任命について
議案第 54 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 55 号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議第 1 号	松阪市議会委員会条例の一部改正について
発議第 2 号	市議会議員の派遣について
請願第 1 号	白猪山山頂付近の市有地への風力発電施設建設を承諾しないよう求める請願書



### 表決が分かれた案件



議案番号	案 件	審議結果
議案第 1 号	平成 29 年度松阪市一般会計予算	賛成多数 可決
議案第 1 号	平成 29 年度松阪市一般会計予算に対する修正動議 (海住恒幸議員外 2 名提出)	賛成少数 否決
議案第 3 号	平成 29 年度松阪市国民健康保険事業特別会計予算	賛成多数 可決
議案第 4 号	平成 29 年度松阪市介護保険事業特別会計予算	賛成多数 可決
議案第 5 号	平成 29 年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計予算	賛成多数 可決
議案第 10 号	平成 29 年度松阪市水道事業会計予算	賛成多数 可決
議案第 22 号	松阪市税条例等の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 27 号	松阪市国民健康保険税条例の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 35 号	平成 28 年度松阪市一般会計補正予算（第 4 号）	賛成多数 可決
議案第 37 号	平成 28 年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	賛成多数 可決
議案第 38 号	平成 28 年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	賛成多数 可決
議案第 39 号	平成 28 年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	賛成多数 可決
議案第 48 号	松阪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 49 号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 50 号	松阪市市長、副市長及び教育長の給料、旅費等に関する条例の一部改正について	賛成多数 可決

議員名 議案番号	真 政 ク ラ ブ								市 民 ク ラ ブ				日 本 共 産 党		公 明 党		グ ル ー プ 阜		青 凜 会		前川幸敏							
	米倉芳周	坂口秀夫	植松泰之	堀端 脩	野呂一男	山本芳敬	大平 勇	大久保陽一	水谷晴夫	川口 保	永作邦夫	松田俊助	中島清晴	田中 力	今井一久	久松 倫生	松田千代	松岡恒雄	山本 節	西村友志		西口真理	深田 龍	海住恒幸	沖和哉	中村良子	濱口高志	楠谷さゆり
議案第 1 号 原 案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	×	×	×	○	○	○	×	欠
議案第 1 号 修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	○	○	○	×	×	×	○	欠	
議案第 3 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 10 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 22 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 27 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第 35 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 37 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 38 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 48 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第 49 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 50 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 西村友志は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席者。



# 代表質問

平成28年度当初予算の審議にあたり、2月定例会初日に市長から市政に対する所信が述べられました。

これに対し、会派の代表および会派に所属しない議員が、ひとりあたり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問しました。

【例】所属議員3人の会派は、50分×3人=150分の時間制限となります。

代表質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、各会派および会派に所属しない議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。



## 前川 幸敏 議員 (会派に所属しない議員)

### 新しい施設「マーム」に移転して 新規の利用者が増えるかなあ～。



#### 松阪公民館 商業施設での移動は

Q なぜ、松阪マームに変わっていくのか。家賃はどの様に話をされたのか。

A 松阪公民館は中央公民館の機能を有している。慢性的な駐車場不足を解消、大規模改修や建て替えを考えている際には移転を考える必要ありとの答申をいただいている。公民の施設の集約による集客効果や公民館活動の活性化が図られる。家賃は坪当たり5,000円程度でそれを下回る事が望ましい。マーム松阪商業開発株式会社と話を進めている。

#### 獣害対策について

Q 津市は倍以上獣害対策に取り組んでいる。会員も高齢化をしている。どの様に確保されるのか。他市は鉄砲、わなの免許を取るのに補助金を出しているが。

A 津市は4,000頭、松阪は2,000頭。猟友会員は63歳と高齢化して減少が予想される。国では猟銃税の減免措置があり、当市は免許取得は支援はしていない。昨年は9名が狩猟免許を取得し、新たに会員になっていただいた。今後は中山間地域の自治会へ呼び掛けていく。



## グループ阜

### 「豪商のまち」公共施設配置 「意義」それとも「異議」?

● 代表質問 海住 恒幸 議員  
● 関連質問 西口 真理 議員  
深田 龍 議員



海住 恒幸 議員

#### 「豪商のまち松阪」中心市街地 土地利用計画の意義について

Q 当計画で松阪公民館の移転が上がっている。答申は、移転を考える際はサービス低下や利用者減少につながらないよう十分な検討を求めているのに、それよりも前に移転が決まっており答申を無視した。公は建前を重視してほしい。建前を無視するようになったらトランプさんと一緒。市長は「誠実に、ものを隠さず、公正に」が原則。ルールを守れ。答申を出すより前に移転を決定していいのか。

A 答申無視ということではない。

Q 答申には「施設の修繕や建て替えを考える際には移転という考え方も必要。しかし、移転を考えるとサービス低下や利用者の減少につながらないよう十分な検討を」とあるのに、教育委員会事務局の答弁は「大規模改修の折は移転を行うべき」と事実を歪曲している。市長も一緒に、「異議」の積み上げで事実を変えていく懸念がある。プロセスの中に詭弁がまかり通るのは即刻やめてもらいたい。反論あればお答えいただきたい。



▲松阪公民館など移転対象施設の検討資料はすべて黒塗り非公開だった

A まるで何か密室で決まって、ウソを言まくって皆さんを説得するごとく言われているがそういうことは決してない。

#### 「豪商のまち松阪」中心市街地土 地利用計画 ～公共施設の再配置について



▲マームへ移転する松阪公民館

Q 平成29年度末で廃館となるプラザ鈴。「廃館後は利用者のサービス低下にならないよう講座は公民館等替わりの場所を提供する」と言っていたが、51講座中、公共施設に替わりの場所が見つかったのは10講座のみ。地区公民館は飽和状態で空き部屋がない状況。担当部の見解は。市の認識に甘さがあったのではないか。

A 現在23講座が決定していない状況。廃館までにはすべての講座の方が受講できる環境ができるよう努めていく。

Q 松阪公民館のマーム移転は唐突感があった。高齢の方が多く車に乗れない方が、マームへ行ったら行けなくなる、どうしたらいいかという声を沢山聞く。「松ヶ崎駅から歩ける距離。コミュニティバスも出ている」との答弁は余りにも冷たいのでは。

A 近鉄松ヶ崎駅から約650m、徒歩5～10分。バス路線も9便に増便し一定の利便性も上がってきている。

- Q 三雲松阪線のバスの本数、時間、講座との関係、行けなくなってしまう事のないようきめ細かい対応をしていただきたい。
- A ニーズ調査等も含めて、適正なダイヤ変更や便数について検討を進めていきたい。

### 一次救急医療体制について

- Q 2カ所ある一次救急医療体制の一元化を目指され、そこに至らなかった理由と経緯を聞く。
- A 開設以来、4,000人以上の利用があり、場所の認知も進んでいることから業務委託をしている「いおうじクリニック」は現在の場所での診療を希望されたため。
- Q 平成30年度に向けて、再度、一元化を目指すのか。
- A 目指すべきは365日・24時間という体制。できる限りその方向だが、医師会「いおうじクリニック」の協力がないと成り立たない。協議しながら進めていく。

### 産業支援センターについて

- Q 産業支援の総合窓口として商品開発や販路拡大、事業課題を抱える市内企業の課題解決に向けて支援を行っていきと聞く。雇用対策についても取り組むのか。
- A 雇用についても考えていかなければならない。ただ、既存の支援機関が得意とする支援メニューを活用して、効率的に企業と人材のマッチングをしていくことも必要と考える。



▲「産業支援センター」が入るカリヨンビル

## 市民クラブ

### 平成29年度予算と竹上市長の市政運営について

- 代表質問 松田 俊助 議員
- 関連質問 中島 清晴 議員
- 川口 保 議員



松田 俊助 議員

### 新電力事業会社の設立について

- Q 民間事業者との共同出資による新会社を設立とあるが、今から民間事業者を選定していくのか、また、クリーンセンターの発電量は。
- A 4月早々にも公募型プロポーザルを実施、新電力事業を実施している実績のある事業者を選定する。発電量については、平成27年度実績において、2,040万kwhとなっている。



▲松阪市クリーンセンター

### 三世同居について

- Q 昨年の代表質問で三世同居の提案をして、早速29年度に予算化され、さすが竹上市長と評価したい。近居という認識ですが、1キロ以内という考え方がいかなものか。
- A 1キロという定義ですが、三世代が同じ小学校区に住む場合の想定を基本的にしている。



### 空き家対策について

- Q 空き家対策として問題がある空き家があった場合、尋ねる課がない、一般市民の皆さんがわかるよう空き家対策プロジェクトを早く立ち上げてほしい。
- A 少子高齢化、人口減少時代に突入した中、非常に深刻な問題になっている。1年間で建物に関して30件程度、雑草に関して50件程度問い合わせがあった。役割と責任をより明確にするため、プロジェクトチームを立ち上げ検討していく。

### 床上浸水対策について

- Q 市長は床上浸水を10年で無くしたいということですが、そのプロセスは。
- A 市長と知事との1対1対談において、浸水ゼロに向けて連携を強化することとなり、浸水被害が発生している三渡川、百々川、愛宕川、名古屋川について調査解析業務を分担して実施する。1年目は発生原因

とメカニズムを推定し、効果的な対策案の抽出を開始したところです。

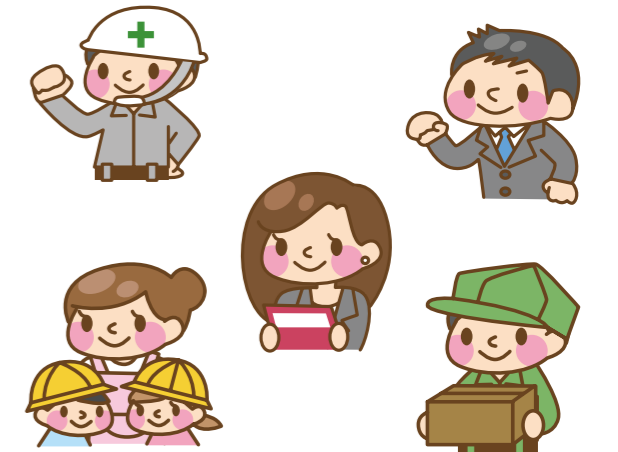
2年目は、降雨モデルにより、浸水シミュレーションを行い、浸水被害の発生メカニズムを推定、3年目は測量、設計を進めていく。



- Q 停電時のポンプ作動についてどうするのか。
- A 台風時などの停電によるポンプの停止は、過去10年間で1回あった。過去5年で確認したところ停電はない。今後は常設の自家発電機の設置など、停電対策も検討していく。

### 長時間労働について

- Q 松阪市では過労死ラインと呼ばれている月80時間超えの残業はあるのか。職員課として職員の残業をどのように捉えているのか。
- A 時間外勤務の実績として、市全体で11万9471時間。これは前年同期比で1万1,830時間、9%の減となっている。月80時間を1回でも超えて時間外勤務を行った者は43名、月平均で80時間を超える時間外勤務をしている職員はいない。所



属長より時間外勤務削減のための心配りシートを使用して、メンタルヘルスクエア及び時間外勤務削減に向けた業務改善への指導やアドバイスを行なっている。

- Q 竹上市長になってから、時間外が1万1,830時間も縮減されている。これを、人件費に概算しますと幾らになるか。
- A 3,000万円強、時間外手当が減っているという状況である。
- Q 時間外勤務と年次有給休暇との因果関係はあるのか。
- A 時間外勤務が多くなると年休の取得率が低くなるという傾向がある課もあるが、必ずしも時間外が多くなると年休の取得率が低くなるまでとは言えない。

### 部落差別解消推進法について

- Q 部落差別解消推進法が国会で昨年の12月9日成立した。現在もなお部落差別は存在すると明記され、基本的人権を保障する憲法の理念にのっとり許されないとして対策を求めている。松阪市としてどのような取り組みをしていくのか。
- A 法律の趣旨をしっかりと受け止め、国や県の動向にも注視しつつ取り組んでいく。



### 地域振興局予算について

■関連質問 中島清晴

- Q 振興局の予算、権限はどう整理されたのか。また、本庁直轄とされる農林水産、建設保全、教育事務所の予算と権限は。
- A 支所という位置づけで変更を加えたものではない。予算については今までと同様地域振興局費である。それぞれの事務所は本庁組織で一括で実施することで、スケールメリットが期待でき、効果的な業務を進めることができる。

### 祭り、神事などの伝承について

■関連質問 川口 保

- Q 祭り、神事、伝統芸能などの存続が難しくなっている。どのように感じているのか。
- A 祭りを通して地域住民の結びつきが強くなり、祭りなどはすばらしい力を持っている。一歩進める文化行政を進めていきたい。



## 楠谷 さゆり 議員 (会派に所属しない議員)

### 豊かな保育には、安心して働ける職場環境を



#### 第1種非常勤保育士 新賃金体系の問題点

- Q 職務経験による上乘せがある新賃金体系から、子育て支援センターの職員を除外する合理的説明は。
- A 人材確保という緊急性と、保育園現場の勤務時間の特殊性や作成すべき書類の量など、事情が他の職場とは異なる。
- Q 賃金格差がつけられる合理的理由は、資格の有無、就業時間、仕事内容の3つである。資格は同じ。サービス残業は職場環境の改善をするべき



▲子育て支援センター ふれんず

ことであり、賃金格差をつける理由にはならない。仕事の内容は違うが、どちらも責任は重い。

- A 40数名が今足りないという緊急事態で、この賃金を設定した。
- Q それには何も反対しない。ただ、市の都合で子育て支援センターに異動になった保育士は不公平感を持っている。子育て支援センター5名の非常勤を同じ賃金体系に含めるといくらか？
- A 約93万5,000円の試算となる。
- Q 1年間に93万5,000円の投資で、将来に大きな意味を持つものだと思うが。
- A そういう気持ちはあるが、賃金改定の目的を理解してほしい。今後配置が変わることについても、見直していく。

## 青 凜 会

### 3年目の竹上市政、意気込みを問う！

- 代表質問 濱口 高志 議員
- 関連質問 沖 和哉 議員
- 中村 良子 議員



濱口 高志 議員

#### 津波ハザードマップをもっと細かく

- Q 浸水予想図の色分けが2~5mで1区分になっている。北部給食センターは、2.5mのデータはあるが、このマップに入れなかったのか。
- A 10m角で細かいデータは県からもらっているが県と同様、公表の予定はない。

意見 地点ごとの浸水深さがホームページで見られるようにしてほしい。

#### 空家対策特別措置法への取り組みは

- Q 2年前から何も進んでいない。
- A 建築、環境、防災、景観、まちづくり、税務等の庁内の課長級で議論している。
- 意見 津市では調査が終わっている。すぐに取り掛かれなかったのは残念だ。

## 分庁舎整備はどうなっているのか

Q 事務スペースの不足から、翠松閣を改造し早急に対応しようとしていた。しかし今年度の予算に上がっていないのはなぜか。

A 本館北側への建築を、6～10年の中期計画で進める。

意見 駐車場だけでも早く進めてほしい。



▲駐車場にほしい翠松閣の土地

## ふるさと納税による財源確保戦略

Q 担当課は少数精鋭でやっているが、限界だと危惧する。人員増員やバックアップ体制の強化などはどうか。

A 外部委託というのも含め可能性を探りながら、地域の特産品を全国に発信する機会として、努力していく。

意見 子育て1番のための財源確保を強くお願いする。

## 一般不妊治療にも助成を求める

Q 特定不妊治療は、治療ステップとして後半戦である。心身のストレス軽減のために

松阪市の不妊治療における費用負担と課題

助成金もらえない		妊娠成功率	1回の費用（概算）	保険
一般不妊治療	① 問診	—	数千円	適用
	② タイミング法・排卵誘発	7～15%	数千～1万5000円	一部適用外
特定不妊治療	③ 体外受精（VIF）	25～35%	20～50万円	適用外
	④ 顕微鏡受精	30～50%	30～100万円	適用外

その他：交通費、宿泊費、就労環境、周囲の無理解、偏見、自己否定、離婚原因

▲不妊治療による費用負担

も、一般不妊治療に対する経済的な支援はできないのか。

A 産めよ増やせよという誤解を受けるため、市の考えとは違う。

## 生活困窮学習支援の危険性

Q 低所得の方しか利用できない事業では偏見を誘発し、制度として危険だと考える。

A 個人情報取り扱いや教育委員会との連携をしっかりと進めたい。

## インクルーシブ教育の構築を！

Q 地域の学校に通学する特別支援が必要な子どもは増加してくる。障害者差別解消法が制定され、合理的配置提供の法的義務化となった。校舎改修、新築における仕様書にユニバーサルデザイン等明記が必要と考えるが、どうか。

A 官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準、三重県のユニバーサルデザインのまちづくり推進条例等の適用基準に基づくことを、特記仕様書内に明記し、設計業務を発注する。

## 福祉会館をもっと柔軟に利用すべき

Q 松阪公民館が福祉会館となることについて現使用スペースを松阪公民館に当てはめると、大会議室をパーティションで区切れば、2階と3階に収まる。1階を他の事業に利用しなければもったいない。さまざまな市民が建物を共有する中で相乗効果が期待される。人の行き交いの減少も少しは止められるのでは。

A 稼働率が低い部屋を今後有効利用できないか等、31年のリニューアルに向けて検討会を設置し、全てを見直す。



▲松阪公民館（殿町）

# 公明党

## 新たな気持ちで一步前進の一年を！

● 代表質問 山本 節 議員  
● 関連質問 松岡 恒雄 議員



山本 節 議員

## 幼保小中室温環境の改善

Q 昨年7月の中川幼稚園の室温測定が、37.5度、38度、40.5度、41度の現状であり、具体的な庁内検討委員会の立ち上げによる対策、方向性に対する現時点での考え方。またアンケート、そして西中学校の結果を踏まえてどうお考えか。

A 幼稚園施設のエアコン導入されていない教室においては、温度が高い日などには園児を暑さから守るため、エアコンが整備されている遊戯室に移動し、極力園児に負担がかからないように工夫している。エアコン導入の考え方については、新年度に立ち上げる教室環境対策検討委員会において、導入の是非及び仮に導入した場合の幼少中の優先順位等も議論いただきたい。

## アクアイグニス多気との連携について

Q 多気町に計画中のアクアイグニス多気の食材や農業関係者との協議会、薬草を特化して提供可能な方々の把握、雇用創出への説明会の開催についてのお考えは。

A 松阪市と多気郡3町及び管内の商工会議所、商工会で構成し、ハローワーク松阪も関わり、松阪地域雇用対策協議会を設置し、松阪地域の雇用促進を図っている。今後多気町から説明会開催についてお話があるかもしれない。多気町と一緒に連携策を図っていききたい。

## 高齢者が「安心して暮らせるまちづくり」について (1) 認知症徘徊対策～

Q 平成26年から広域で立ち上げた徘徊SOSネットワークの模擬訓練について、見守り隊も含めて今後の方向性、考え方は。

A 各地域の高齢者安心見守り隊をはじめ、各地域包括支援センターに配置の認知症地域支援推進員、社会福祉協議会、市の担当部署も一緒に相談や協議をしながら、訓練を実施し、徘徊されても安心して家庭へ戻る地域の支え合いを支援していきたい。



▲徘徊 SOS ネットワーク模擬訓練

## 公共施設トイレ事情について

Q 振興局の集会所、生活改善センター等の1基しかない男女混合、水洗ではない環境のトイレに関してのお考えと、学校、教育現場での洋式への保護者や子どもへのアンケートへの考え方と方向性について、また高齢者中心の集会所等の洋式化への対応についてのお考えは。

A 高齢化、利用者のライフスタイルの変化に従い、洋式水洗トイレが求められると想定している。アンケートについては、職員や保護者の意見等を聞けるように、各学校の実態調査に努めていきたい。公共施設のト



トイレ整備について、施設規模、老朽化度、立地条件、利用者数、使用頻度、設置の必要性等を勘案し、ケースバイケースで総合的に判断していく。



▲市内小学校のトイレ



▲大淀津波避難タワー（明和町）

その他の質問事項

- 学校現場の緊急メール費用について
- 行政無線難聴区域の解消策は
- 高齢者が「安心して暮らせるまちづくり」  
(2) 高齢者事故対策～
- 母子健康情報サービスについて
- 地域共生社会の取り組みについて

地域防災計画について

- Q 本市での津波避難施設の建設があるのか、どうか、どうお考えか。
- A 避難タワーを建設するかどうか、防災計画の見直しの中で議論し、いずれお諮りをしていきたい。

日本共産党

国や県にはっきりものをいい  
地域とくらしを守ります

- 代表質問 久松 倫生 議員
- 関連質問 松田 千代 議員  
今井 一久 議員



久松 倫生 議員

安心の医療、介護を

- Q 介護総合事業がスタートするが、包括ケアシステムが十分稼働するか。
- A 準備を進めてきたが理解が難しいという意見を事業者や市民からいただいている。実際に総合事業の多様なサービスを増やしていくなど今後の大きな課題である。
- Q 地域医療のベッド数削減に対し、検討委員会を立ち上げるが、どんな検討をし、どのような方向を示されるのか。
- A 危機感を抱かざるをえない数値である。庁内に地域医療のあり方を考えるプロジェ

クトチームを設置するとともに、外部有識者による検討会を立ち上げ、病床機能の分化、連携、病院経営形態など検討する。

- Q 2014年の医療介護総合確保推進法がつけられたが、地域も行政の職員も住民もこれではやっていけないという状況があるのではないか。削減ありきで進められていけば医療難民に陥る患者が多くなることは十分予測できる。
- A さまざまな連携協力体制をとり、課題を共有しながら対応策についてしっかり取り組んでいきたい。



▲川上から川下へ…医療難民とならないか。問題が大きい

国民健康保険の負担軽減を

- Q 国保の広域化がスタートする。負担増にならないよう強く申し上げたい。その際、応能応益負担が5対5が原則とされているが松阪の賦課基準は、応能4・4、応益5・6となっている低所得者に重い負担になっている。改善の考えはないか。
- A 保険税の負担割合は県内統一の原則50対50で表示されることになっている。被保険者の税負担が適正になるよう、慎重に検討を重ねてまいりたい。

教室へ急いでエアコン設置を

- Q 検討委員会を作って結論を出すということだが、エアコン設置を強く求める。
- A データやアンケートなど参考にして、教室環境対策検討委員会を立ち上げ、年度内に結論を出していく。
- Q 保護者の署名などどう受けとめるか。合併特例債を生かすならば、早く結論出さないと間に合わない。
- A エアコン設置の必要性は認識している。29年度の早い時期に結論を出したい。



▲普通教室へのエアコン設置を急いで

子ども医療費の窓口  
無料化の実施を

- Q 窓口無料化の実施を求める。
- A 先行する市の実施状況を見ながら検討していく。いずれ無料化へ向かっていくと認識している。県統一が必要と思っており、積極的に要望していく。

高い水道料金の引き下げを

- Q 30年余りにわたって高い水道料を負担してきた市民に、少しでも暮らしの応援をする気はないか。
- A 2回の値下げは県営水道の受水費の引き下げられたことによるもの。給水収益における受水費の割合が35%で水道会計の大きな重しになっている。松阪市の水道料金の決定に大きく影響している。次回は32年度が見直しで、少しでも引き下げの余地があれば前向きに取り組んでいく。
- Q 三重県企業庁の資金収支で28年度の水道の内部留保が135億円になっている。同年度で企業庁から一般会計へ40億円まわしていたという話で、こんなやり方はあまりにもひどいではないか。
- A 企業庁の会計は潤沢といえると思う。内部留保がたくさんあるのであれば受水費を下げていただきたいと要望していく。



▲一般会計へ40億の繰り出しを示す県企業庁の水道会計

意見 国や県にはっきりものを言ってこそ松阪の地域も暮らしも守ることができる。

# 真政クラブ

## 竹上市政 住み良い活力あるまちづくりを問う

- 代表質問 山本 芳敬 議員
- 関連質問 米倉 芳周 議員 大平 勇 議員
- 堀端 脩 議員 野呂 一男 議員
- 坂口 秀夫 議員 水谷 晴夫 議員



山本 芳敬 議員

### 財政運営方針

- Q 市長は、現在の財政状況をどのように認識されているのか。  
「収支均衡のとれた財政運営への転換」とはどういうことか。  
大型事業への投資が必要となる中、「借金を増やすことなく」財政運営は可能なのか。
- A 年間トータルでの財政収支を均衡させ、その年にいただいた税金はその年に市民にお返ししていくことを基本とする。  
就任前の市債残高491億円を念頭に、決算ベースでの市債残高を注視し、借金を増やさないことを実現するため最大限の努力を行う。

### 都市計画マスタープランの見直し

- Q 都市計画マスタープランの目的、役割は何なのか。新たな「立地適正化計画」とはどういうものか。  
各住民協議会の地域の将来像を示した「地域計画」が策定されました。今回見直しをかける都市計画マスタープランにも反映されるものなのか。

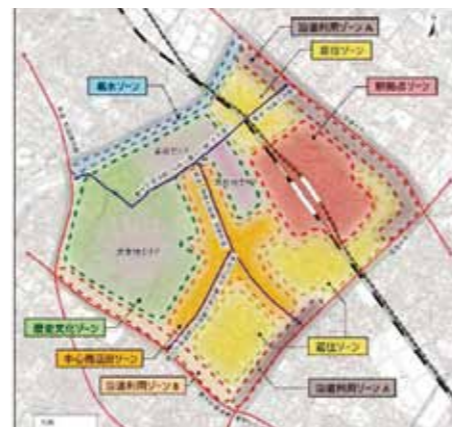


▲市の将来像や土地利用、道路や公園などの整備方針を示している

- A 都市計画マスタープランは、コンパクトな都市への転換、安心・安全、市民主体のまちづくりを行っていくことを目的とし、都市の将来像や土地利用計画の方向、まちづくりの方針等を示す、長期的な計画を策定するものである。  
立地適正化計画は、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し「居住」や「都市機能」を誘導する区域を設定し施策を示すものである。まちづくりは、地域と行政が一体となって進めていくものであり、「地域計画」の内容を十分検討し反映できるところを考慮する。

### 「豪商のまち松阪」 中心市街地土地利用計画策定

- Q 松阪駅を中心とした中心市街地、約170haを対象区域とし20年後のまちづくりの方向性を示す土地利用計画であるが、2008年に計画され断念となった駅西再開発事業計画の反省と教訓は。  
複合施設はどう考えるのか。



▲ 20年後の将来都市像

- A 民間との関係は、信頼関係を築き一体となり進めていく中で、透明性を確保していくことが重要と考え、民間活力を生かす形で事業を進めていきたい。

複合施設には、行政窓口機能、市民活動拠点、産業振興センター機能の一部、商業施設(ホテル等)を配置する計画である。

### 地域の教育力活用推進の考え方

- Q 地域と学校の将来像、連携についての体制は。鎌中校区の教職員、保護者、地域の皆さんがコミュニティ・スクール(CS)をいかに評価されているのか。  
全ての学校にCSを目指すには、教育委員会が準備にかかれと号令を出すのが重要であるが考え方は。



- A 小中連携、学校支援ボランティア、学校評価を基盤としてCSへと発展することを目指している。  
CSの評価で、教職員は、子どもと向き合う時間が確保された。保護者は、学校や地域の理解が深まり、安心感や人間関係が構築されている。地域の方々は、学校が社会的につながり地域のよりどころとなっている。  
CSは、中途半端で立ち上げて自立した持続可能な活動へつながらず、教育委員会の支援が必要である。

### 企業誘致について

- Q 企業誘致推進事業費は昨年度2.5倍、1,437万9,000円であるが、事業の取り組みは。



▲嬉野工業団地に新工場を建設するゲスタンプ・ホットスタンピング・ジャパン(株)

- A 企業誘致アドバイザーの活用として、企業立地の動向に関する情報、誘致の手法・助言を活用して効率的に進める。2つ目に全国2万社の企業を対象に企業立地アンケートをする。3つ目は、新たな工業団地適地調査を実施したいと考えている。

### 「民泊」について

- Q 民泊は、アパートやマンションの一室を貸し部屋として利用する宿泊形態である。近年外国人を泊めたことにより、騒音やごみの散乱等の問題が各地で起きている。旅館業法や消防法等の規制がかからない民泊は、住民の安心安全がないがしろにされる恐れがある。市として旅館業法等に準ずる規制を条例として定めるなどし、地域住民の安心安全とのすり合わせを模索しなければならない。見解は。
- A 外国人旅行者が増加する中、違法な民泊営業が見られ、社会問題化している。国で法整備が進められており、市でも規制等について今後、十分研究していきたい。

### 大江中学校新入生について

- Q 南小6年生14名が対象ですが、入学を躊躇してみえる保護者もあると聞かすが、昨年のアンケートの結果はどうか。
- A 大江中学校区の保幼小中保護者で「今は必要ないが将来的には必要」も反対に加えると、30%はいまのところ必要ないであった。その中で勢和中学校への統合希望が多く飯南中、多気中、中部中と意見が分かれたが、平成29年度は考えていないと文書で通

知済みです。

Q 勢和中となると多気町にまたがり学校組合になりますか対応は。

A 県内で学校組合は多気中のみで仮に統合となると、松阪市長と多気町長の判断を仰ぐ必要がある。

Q 仮に新生がゼロの場合はどうなるのか。義務教育であり教育委員会の基本的な考えはどうか。

A 全校で2学級になり教職員2名減となり校長も含め6名となる。

部活動や学校行事など集団教育活動に制約を受けるなどデメリットがあり、保護者の声を重視しながら地域住民の十分な理解と協力を得て、最大限努力をしてまいります。



▲大江中学校

## 地域包括ケアシステムと新総合事業

Q 地域社会が連携し広域的なケア体制を構築し、地域の多様な主体(資源)を活用し高齢者が高齢者を支えて行く図式で安全な予防事業が出来るのか。

A 市町にとっては非常に難しい制度である。機会ごとに地方の状況を発信していきたい。

## 空き家対策

Q 松阪市の空き家対策は、かなり遅れている。津市は国の制度に基づき、34件の空き家を特定空き家と認定し、この3年間で60

件の空き家を解体や修繕しているが、市ではいかがか。

A 市として今後、プロジェクトチームの中で適正管理に繋がるような施策の研究をしていきたい。

## 地域防災計画の見直し・総合雨水対策

Q 総合雨水対策とは、川上・川下の全流域が、災害のリスクを有している。「これは山ですか、川ですか。」土石流が発生してから対策をするのか。

A 人命を守るという観点においては、河川上流の対策は重要な課題であり、特別警戒区域等の指定の結果を待たないと判らないと考えている。



▲阪内川源流「これは山ですか、川ですか。」

## 交通事故防止対策について

Q 新年度の交通安全対策事業はどこに重点を置くのか。また、例年と異なる事業はなにか。

A 交通安全啓発、交通安全教育、地域交通安全対策の事業を推進。新たに3つの事業を実地する。1つ目は「松阪市安全安心フェスタ」の開催。次に「スクエアドストレート方式」の交通安全教室の開催。3つ目は市の観光施設への「啓発の置き傘の設置」である。また、高齢者が運転免許を返納された人に啓発物品の交付など、交通事故防止対策を図る。



▲「スクエアドストレート方式」の交通安全教室

Q 交通事故防止対策について市長の考えは。

A 28年度は路面の白線を引く、交差点の表示等、注意喚起を促す事業1,000万円の緊急対策を行った。引き続き緊急対策事業を行い、さらに松阪警察署、交通安全協会と協力し交通事故のないまちを目指したい。

## 住民協議会のあり方について

Q 住民協議会は、地域の特性を生かしたまちづくりの推進に取り組まれているが、位置づけが明確に示されていない中、あり方や運営等において、検討しなければならない課題があり、早期に各地区の住民協議会や自治会連合会等から意見等を聴取する場を持ち、課題解決に向け取り組むことを附帯決議として強く求めたが、一向に方向性が見えてこない現状がある。どのようにしてきたのか。

A 附帯決議を重く受け止め、各住民協議会の総会が終了する昨年6月から7月にかけて、全住民協議会を訪問し、条例を制定する際のパブリックコメントでご意見の多かつ



た住民協議会と各団体の関係、活動拠点のあり方、交付金の使途など、聞き取り調査を実施し、現状を把握した。課題の整理をするため、関係団体の代表の皆様からご意見を伺い、まちづくりの課題解決について検討を深めていくための調整等の取り組みを、28年9月、11月の2回にわたり実施し、貴重なご意見を伺った。近々、3回目の開催を計画している。

その他の質問事項

・農水産業の振興について

## 林業対策について

Q 松阪市内の約7割が森林で、その大部分が50年生を中心とした杉、ヒノキとなり、伐採時期を迎えています。木材産業の現状をどのように捉えているのか。



A 昔から林材業が盛んなまちで、現在製材所が52箇所、担い手である森林組合、そして日本初の国産材コンビナートのウッドピア松阪があり、林材業は市の重要な産業であると考えている。

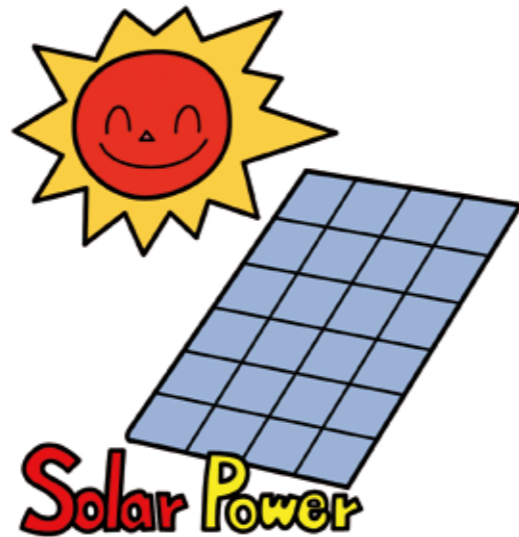
Q 林業支援センターを新たに設置し、製材製品の出口対策の強化と素材生産量の増大に取り組むと答弁を頂いたが、林業センターの目的は。

A 主伐や利用間伐を促進して、素材生産量の増大を図り、木材産業の活性化と収穫期を迎えている森林の適正な循環を目指すことを目的とする。

## 太陽光発電事業について

Q 太陽光発電に関する国のガイドラインが策定され、この4月から運用されているが、国のガイドラインを受けて、松阪市の今後の動きは。

A 太陽光発電事業者から相談があれば、ガイドラインに基づき、指導させて頂く。太陽光発電事業では、市の条例に関係することも想定されているので、関係部署と連携を図りながら対応していく。



# 第9回 議会報告会

初の土日開催！  
参加者が2割  
増えました



「開かれた議会」への改革のもと、平成29年の2月定例会の報告と市民の皆さんとの意見交換を行うことを目的に、第9回目となる議会報告会を開催しました。

開催日	開催場所	参加人数
4月22日(土)	第四公民館	18
	嬉野生涯学習センター	23
	飯南産業文化センター	18
	飯高老人福祉センター	12
4月23日(日)	阿坂構造改善センター	34
	ハートフルみくもスポーツ文化センター	14
	機殿小学校多目的ホール	28
	産業振興センター	33
	計	180

## 議会報告会アンケートから

参加者の皆さまからいただいた感想の一部です。  
(原文から一部抜粋して引用)



▲機殿小学校多目的ホール(六根町)

「コミュニティバスをぜひ、隔々まで走らせてもらえる様に。そうすれば、高齢者が安心して免許の自主返納出来ると思います。」

「議会報告を初めて聞きに来ました。いろいろ知ることが出来、よかったです。土曜の午後は仕事を持っている人にも都合が良いのではと思います。」 【70代】

「もっとたくさんの住民の方に参加してほしい。PR不足かも。」

「あまり松阪市政に興味がないのか？」

「議員さんの顔が見えないとか、仕事がなされていないのではないかと言うなら、この場に出席すべきです。」 【50代】

「沢山の御意見が出て良かった。色々な話が聞けたので参加させて頂いて良かったと思います。」

「土曜日で良かった。夜は出にくいから昼間で良かった。」 【70代】

「参加者が少なかったのは残念。日時を検討(やはり夜が良い)すべき。」 【70代】

「産業振興センターの開催は位置的に参加しやすい公民館や地区市民センターは、地域地域の課題が特化しやすい。」 【50代】

「幅広い地域の皆さんが議会に関心を持っていただけるように施策報告だけでなく、地域の課題など、意見を聴く場としたらどうでしょうか。」 【50代】

「議員定数について、もう少し詳しい説明があると、なお良かった。」

「開催は、平日の夜よりも土日の午後の方が良いと思う。」 【50代】

「なかなか良い報告会でした。  
・もう少し市民との対話の時間が欲しかったです。  
・日曜の昼の開催を続けて下さい。」 【50代】

「ポイントをもう少し詳しく説明してほしいかった。全体時間は良い。」 【60代】

「田植で忙しい時期をずらしてほしいです。」 【70代】

「初めて参加をしたが、プロジェクターを使い各担当者が原稿を読むだけで理解できなかった。自分の言葉で話をして欲しかった。」 【60代】

## 太陽光発電

参加者

太陽光発電についてであるが、開発には地域に迷惑がかかっているところが多い。また、開発許可には、地域の自治会長の合意が必要となっている。これは自治会長にとって大きな責任が生じて困惑している。条例等でもって規定して頂き、法的な対応ができるよう市で指導を願う。【飯南】

議員

現在、国で太陽光発電開発に関するガイドラインが設定されている。しかし、一方では地域の農家はエンディングノートをつくっているのが現状である。いつ農業をやめて、どこか買ってくれるところがあれば、農地を売却することも考えているということである。開発反対ばかりでは進まないのが事実ある。

## 危機管理

参加者

近隣市町では避難タワーの建設が進められているが、松阪はどうなのか？【第四】

議員

これまではより遠く高く避難することを第一に展開してきた経緯がある。現在、松阪市としても、周辺地域との調整や県との協議、沿岸地域の住民代表との協議などを進め、改めて検討に入ったところである。

## 子ども・子育て

参加者

子どもの貧困が叫ばれているが、今年度の予算に反映しているのか。また、給食費はどうなっているのか。【機殿】

議員

就学援助世帯で就学支援が受けられる。申請により修学旅行、給食費の免除を受けることができる。新規に生活困窮世帯学習支援事業費がある。生活困窮により子どもの学力に格差がつかないように学習支援を市内2箇所で行う。

給食費に関しては、学校単位で徴収し、原則本人負担である。家庭の事情がある場合、学校が独自で判断し、経済的に困難な方は支援を受けている。

## 主な質疑応答

参加者の皆さんからいただいたご質問の一部(要約)です。

### 都市計画 豪商のまち松阪

参加者

「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画・素案の中の駅西開発については、アンケートでも3割の人が一番興味を持っているのに、議論がされず、このまま決定して進んでいくのか。【産振】

議員

駅西開発については、現在、20年先に向けての絵を描き始めた段階で、具体的な内容、予算も出ていない。その段階で議会としてもしっかり議論していく。

### まちづくり(住民協議会)

参加者

住民協議会について、住民協議会運営の結果、費用効果的な市のメリット、住民側のメリットはでているのか。また、自治会連合会、公民館と混在している現状において、市はどのように解決を図るのか。【機殿】

議員

あくまでも地域住民が自分たちでまちづくりを行う機関としての施策である。地域のことは地域で考えてほしいということである。現在、市では各住民協議会の役員と協議を行い、今後の住民協議会のあり方と方向性を示すタタキ台をつくっている。今年中に出来上がってくるのでお待ち願いたい。各住民協議会での考え方が異なることもあるので、一つの指針として協議してほしい。

### 交通政策

参加者

高齢者の運転免許証の返納について、地域公共交通の整備状況、商店や病院等との地理的な問題など、地域差で不公平感がある。当地区では車がないと生活が不便であり、公共交通機関の整備など、なんとかならないか。【第四】

議員

コミュニティバスをはじめとした公共交通機関ネットワークの再編が必要となっているが、バス路線の拡充・再編については地域からの要望が必要不可欠である。自治会や協議会としてアンケートや意見をまとめていただき、市や議会に要望として出していただきたい。

### 空き家対策

参加者

空き家対策について聞きたい。この地区でも空き家に関して問題になっている。市はプロジェクトチームをつくらせているが、現状は。また、窓口はどこか。【機殿】

議員

今から市内にプロジェクトチームにて空き家対策を行っていく。市の現在の空き家件数は12,000軒を超えている。非常に大きな問題となっている。中山間地域だけではなく、街中にも多く発生してきているのが現状である。但し、あくまでも所有者個人の問題であり、所有者の管理指導を徹底していくという考えは変わらない。今、窓口を一本化することで協議されている。現在は、振興局管内では各振興局で、本庁管内は本庁でとなっている。

### 松阪公民館移転問題

参加者

松阪公民館の移転について、当地区の利用者から、松阪公民館が使用できなくなり、地区の公民館で継続して利用したいとの要望が出ている。現在どのような状況なのか。【阿坂】

議員

福社会館の老朽化と、松阪公民館の老朽化と2つの課題がある。松阪公民館はもとも中央公民館としての役割があり、各地区公民館とは存在意義が異なり、市内全域を対象とした事業運営が求められる。このことから、より広い世代や多くの市民の活用を目指し、駐車場等を広く確保することが検討された。松阪公民館の大規模改修の際には移転を検討すべきとの有識者による意見書に従い、民間商業施設への移転となった。

これまでの経緯や対応について、市長も説明不足であったことを認めており、今後、相談窓口を設置するとともに、改めて市民の方々への説明を進めていくとしている。

### 水道料金

参加者

他市町から比較すると水道料金が高くなっている。この訳を説明して頂きたい。【ハートフル】

議員

松阪市が高いのは、県の企業庁から水を買っている契約水量が大きいので、毎年支払っていく負担が大きいことによります。

### 福祉

参加者

高齢者、年金生活者には、介護保険など、どんどん上がっていく。どこまで上がっていくのか。年金生活者にとっては大変な金額だ。【産振】

議員

切実な話だと受け止める。国民健康保険、後期高齢者、介護保険、それぞれが見直してどんどん上がっているが、すべて国の政策の中で決められている事で、自治体として何が出来るか。市長には、国や県に対してモノを言うてくれるようにとは再三申し入れている。介護保険、国民健康保険は、他市よりも軽減措置はしっかり取られている。議会としても取り組んでいくが、市民からも声を上げて欲しい。

参加者

民生委員をしており、子どもから高齢者までかかわる必要が出てくるが、新規転入者の情報が入らず、独居の方への支援や災害時等を考えると対応に困る。住民登録時に自治会を通じて民生委員に情報がおりてくる仕組みにできないか。【第四】

議員

民生児童委員としての日々の活動に感謝する。ご指摘の地域住民の情報について、非常にご苦労されていることは重々推測されるが、自治会加入は任意であり、転入者全員が加入すべき強制のものではない。そのため、個人情報保護の関係で行政から自治会への伝達が難しい現実がある。転入時の自治会案内の際などに、情報提供の同意を得るなどの対応ができないか、市と協議していきたい。

### 学童保育・待機児童

参加者

孫が保育園に通っており、心配している。待機児童の問題はないのか。【阿坂】

議員

毎年4月時点では待機児童が発生しないよう対応しているが、年度途中の希望者や転入者などにより、待機児童が発生している状況である。保育園整備や保育士確保など、予算状況や需要などを総合的に考えていかなければならない。市としては、幼保の連携や新設、移転なども含め、今後さまざまな検討が進められていく。

# 平成28年度 行政視察の 受入状況



# 平成28年度 政務活動費の 執行状況

## 全国的にも注目される松阪“議会改革”

28年度は、全国から29市町村266名の議会が行政視察に来庁されました。その内の8市町については、議会改革についての行政視察となりました。

月日	来庁された他市町の議会	調査内容
5月24日	尾鷲市議会	議会改革
7月13日	愛媛県四国中央市議会	議会改革、議員間討議等
10月25日	山口県山口市議会	議会改革、一般質問等
11月2日	大阪府八尾市議会	一般質問、反問権等
平成29年1月25日	富山県氷見市議会	議会改革、議会運営等
1月31日	埼玉県幸手市議会	議会改革
2月6日	伊勢市議会	議会基本条例、決算審議等
2月7日	多気町議会	広報広聴委員会の取り組み

※議会改革のみ抜粋

私たちの取り組みの中で最も評価されているのが、松阪市「議会基本条例」を制定し、「より深く議論することができる仕組み」を構築したことです。議員の叡智を結集したこの議会基本条例に対する調査はもとより、決算審議において、より詳細な審査が可能となる分科会方式を導入したことなどに対して、積極的な視察調査をしていただいています。

また、定期的に開催している議会報告会や意見交換会の実施方法も高い関心を持たれています。

改めて私たちの議会活動を振り返る良い機会となっています。

■交付の趣旨  
政務活動費は、松阪市議会議員の政策立案及び調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付しています。

■交付の対象  
松阪市議会における会派及び会派に所属しない議員に対して交付しています。

■交付額  
会派の所属議員数に月額25,000円を乗じて得た額(会派に所属しない議員は月額25,000円)を交付しています。

### 《政務活動費》(平成28年4月～平成29年3月)

単位(円)

科目	会派名	真政クラブ (9人)	市民クラブ (5人)	日本共産党 (3人)	青凜会 (3人)	公明党 (3人)	グループ 阜 (3人)	会派に所属しない議員		合計
								前川幸敏	楠谷さゆり	
交付額		2,700,000	1,500,000	900,000	900,000	900,000	900,000	300,000	300,000	8,400,000
支出	研究研修費	0	0	496,034	146,112	0	222,404	0	227,676	1,092,226
	調査研究旅費	1,825,945	1,296,610	0	379,615	0	0	209,540	8,140	3,719,850
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	518	0	0	518
	資料購入費	0	12,706	114,283	21,529	4,200	41,058	58,968	10,572	263,316
	広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務費	17,345	52,015	63,754	7,232	32,761	15,108	11,032	14,234	213,481
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計		1,843,290	1,361,331	674,071	554,488	36,961	279,088	279,540	260,622	5,289,391
残額		856,710	138,669	225,929	345,512	863,039	620,912	20,460	39,378	3,110,609

※政務活動費の残額3,110,609円については、松阪市に返還されました。

## 議員定数28人決定の経過報告

### ～定数決定の経緯～

#### 「議員定数28人は必要」の声多く！

市議会では、今夏7月23日（日）執行の市議会議員選挙における議員定数を、現行の28人とすることを決定しました。

議論にあたり、昨年5月に第三者機関「議員定数のあり方調査会」を設置。4回の調査会を経て、10月18日に意見書が出され、機能面や財政面など5つの視点での検討で、現行の定数28人が妥当とされました。この結論を踏まえて、11月の議会報告会で、市民の皆様からご意見をいただき、また、今年1月には、自治会連合会との懇談会を開催し、意見交換会を行いました。将来的には見直しも必要などの意見もありましたが、「現行の定数28人は必要」とするご意見を多くいただきました。

これらの経緯を経て、2月13日議員全員で構成する議会改革特別委員会において協議を行い、現行の定数28人を妥当とする意見が大多数を占め、「議員定数28人」が決定しました。

H27.12.18～H28.3.18

- ・議会改革特別委員会 2回
- ・作業部会 2回

H28.3.24

- ・議会定例会
- 「専門的知見の活用（略）」議決

H28.5.6～9.11

- ・議員定数のあり方調査会 4回

H28.10.18

- ・意見書の提出と説明会

H28.11.4～H29.2.2

- ・議会改革特別委員会 1回
- ・作業部会 3回

H28.11/10、11、14

- ・議会報告会（市内12会場）での意見聴取

H29.1.16

- ・市自治会連合会との懇談会

H29.2.13

- ・議会改革特別委員会
- 「議員定数28人」が決定



今月号の表紙は、松阪工業高校繊維デザイン科2年生中村洸太さんの女の子が楽しく無邪気に笑う感じで描かれた「雨上がり」という作品です。



### 編集後記

昨年の8月から1年間、少しでも読んでいただきやすい「みてんか」にするため、委員一同、執筆と編集に携わってまいりましたが、改選を控え、現在のメンバーでの発行は今号が最後となります。市民の皆様と議会の距離が少しでも近づけたとしたら、幸いです。

また、4月19日、表紙デザインに協力していただいている松阪工業高校を訪問し、引き続き作品のご提供や今後の新しい取り組み方を懇談させていただきました。どうか今後の松阪市議会と「みてんか」にご期待いただき、より一層育てていただければと願っております。

今後ともよろしくお願いたします。

広報広聴委員会 委員長 沖 和哉

広報広聴委員	(委員長)	沖 和哉	(副委員長)	植松泰之	
	(委員)	楠谷さゆり	西口真理	米倉芳周	松岡恒雄
		永作邦夫	久松倫生	西村友志	